



帯広西ロータリークラブ

第2068回例会

2014.11.20

会報



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意

Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

ゲスト紹介

平田利器会長
帯広西ロータリークラブ 会友 小室 陸雄 様

会長報告

皆さんこんにちは。お久しぶりでございます。今日は嬉しく、懐かしい気持ちで例会に臨んでおります。前回の13日は、佐々木副会長にお願いして欠席させて戴きました。お陰様をもちまして何とか無事にワールドカップ帯広大会を成功裏に終わらすことが出来たと自負しております。沢山の観客も入り、非常に盛り上がりました。日本選手も今の力からいうと、それなりに結果を出し、良く頑張ってくれたと思います。本日は会友の小室陸雄先輩をお迎えして「つながり」という表題で講話をして戴きます。私の信条と考え方で、絆をテーマとして現在進行中でありまして。まさに人の繋がりこそ大切な絆に繋がる源流でもございます。私もしっかりと今後に生かしたく、よろしく願い申し上げます。来週は皆さんで祝いをしたいと思っております。夜間移動例会にさせて戴きました。今までは、ゴルフ同好会で還暦、古希、喜寿、傘寿等のお祝いをしていただいております。時代の流れと今後の運営を勘案して理事会を中心にクラブ行事として位置づけし、ゴルフ同好会の協力を戴きながら今後も継続開催をお願いしたいと思っております。27日には沢山の参加をよろしくお願いいたします。

早い物で、現在ご案内していますが、12月4日は年次総会があります。今後の西クラブの方向性が決められる大事な総会でありまして。しっかり審議、提案したいと思っております。これで何とか私の任期も半分が終わるのかなという実感がそろそろ湧いてきております。しかしながら、今後の行事もしっかり取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

話は変わりますが、今日はボジョレー・ヌーヴォーの解禁日であります。本日は西クラブ銘酒会があります。今宵はお酒と、ワインを久しぶりに楽しみたいと思っております。よろしくお願いいたします。以上会長報告と致します。

平田利器会長



平田利器会長

会務報告

- 天野清一幹事
- ①帯広南RC、11月24日(月)の例会は、祝日振替休日のため休会と致します。
 - ②帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内
日 時 11月27日(木)午後6時30分
場 所 夢人(ローヤルプラザ B1F)
会 費 2,000円(当日のキャンセルも会費を徴収いたします)
 - ③帯広西RC、年次総会開催のご案内
日 時 12月4日(木)午後0時30分(例会時)
場 所 北海道ホテル
 - ④帯広西RC、年末家族会開催のご案内(夜間例会)
日 時 12月11日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル
※お子様・お孫様など多くのご参加をお待ちしております。



ニコニコ献金

披露 親睦活動委員会 近藤真治会員
平田 利器 会長

先週は佐々木副会長ありがとうございました。無事ワールドカップ終了で感謝です。

佐々木和彦 副会長

本日は出張で大変申し訳ありませんが、欠席です。先週のつたない会長報告、ご静聴いただきありがとうございました。毎週されている平田会長を尊敬しておりますので、もう休まないで下さい。

谷脇 正人 ロータリー情報委員会 委員長

本日担当例会、小室先輩をお招きしての例会です。よろしくお願いいたします。

久保 忠正 会員

今日はボージョレーヌーヴォーの解禁日ですが、熱鬧もおいしい季節になりました。本日六時半より正次郎さんで銘酒会が開催されます。三十人以上の大所帯になりましたが、新しい会員の方も大歓迎いたします。



ニコニコ	11月20日	8,000円
献金	累計	305,221円 (11月20日現在)



会 長 平田 利器
幹 事 天野 清一

副会長 佐々木和彦
副会長 飯田 正行

会場監督理事 堂山 啓太
プログラム委員会理事 久保 且佳

発行：広報委員会
委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



皆さんこんにちは。本日はロータリー情報委員会で例会を担当させていただきます。先ほど会長からご紹介ありました帯広西RC会友 小室陸雄先輩にお越し頂き、お話しをお聞かせ頂きます。小室先輩の略歴をご紹介させていただきます。

1930年(昭和5年)3月4日生まれ、入会は1979年、退会が2011年ということで32年間帯広西RCに所属しておりました。商工会議所には45年間お勤めになられました。その後、帯広空港に8年間お勤めになりました。会長の方針に則って、ロータリー情報委員会では今年1年間を勤めさせて頂いておりますが、方針の中にロータリーの原点を見つめ直すと基本は友情と信頼関係にある。絆を強く皆さんに説いております。私は2010年入会で、1年間なんですけども小室先輩に「谷脇、若いんだからがんばれよ」と声を掛けて頂きました。1年間ご縁を頂いて、それがなかったら繋がっていなかったのではと先ほどお話しを頂きました。今日はそんな意味で、繋がりにして絆を感じて頂けるお話しを聞かせて頂けると思っております。小室先輩よろしくお願い致します。

「つながり」 帯広西RC 会友 小室 陸雄 様



1ヶ月以上前になりますが、谷脇さんから連絡がありました。卒業してから何年も経つので、こういう場に立つことには考えも及ばなかったのでお断りました。しかし、その後の谷脇さんとの電話のやりとりで、平田会長の方針が絆であることの話が出ました。2010年に地区大会がありました。

その時、入会間もない谷脇さんにゲストを送迎する車の係できちんとしたものを作って頂いて、ゲストを空港に迎えに行ったりする時に恥をかかずにすみませう。そういうことをやって頂いたのに何も返すことがなかった時に今回の電話がありまして、絆という言葉を受けたので、やっぱりロータリーというところにひとつの結びつきがあったと思いついたのはいいのですが、実はテーマを考えたらなかなかお話しすることがなかったんです。今日は久しぶりにスーツを着てまいりました。80才を越えて緊張することもないのですが、さすがに今日は谷脇さんに頼まれるし、西ロータリーだし、知った方ばかりの前ですので、きちっとした格好で来ました。こういう機会を与えて下さりありがとうございました。私が西RCに入ったのが昭和54年でした。商工会議所で例会がありました。入ったときにたまたま帯広中学校の同期に三浦悟、谷本宏、近藤博がおりました。帯広中学校に入ったのが昭和17年でした。戦争になって1年で日本がまだ元気なときでした。昭和18年頃から学校教育が変わり始め勤労員という姿ができました。中学3年になると5月から援農があり2ヶ月間の共同生活が始まりました。そんな最中の3人でしたので、いろいろな思い出がありました。援農とは農家に2~3人で1ヶ月近く農作業をやるもので、月末の4~5日は一旦戻って授業をするといったことでした。昭和20年の1月2月の寒いときに糠平、三股の林道つけがあり、飯場で寝泊まりをした時の集団生活が非常に印象的です。彼らとの繋がりの中で80代になりますが、何年経っても時々話の中に出てきます。やがて社会人になっても深い繋がりがあるのですから、何かがあったときには声を掛け合って頼み事をやるような機会が多くなりました。谷本宏君との思い出ですが、経済センタービルを建設するときのことです。昭和48年頃、社会情勢としてはオイルショックがあり、金利がべらぼうに上がる時代でした。計画段階でいろいろと苦労があったわけですが、私は事務方でした。その中で一番参ったのは、情勢が変わる中、始めの段階では、あまりお金に心配がなかったのですが、極端なインフレとともに物の値段や工事費用が上がっていききました。そのため入居企業も減り、思うように行きませんでした。そんな中、上司から自分が最も不得意とするお金を借りて資金計画を建てることをお願いされました。全く経験がなかったので、その時ちょうど開業して間もない谷本君に泣

きついて世話になりました。その後も、いろんな面でフォローをしていただきました。それから近藤博君ともいろんな思い出があります。わたしが商工会議所の専務をやっている時、地区労働組合や合同組合が盛んな労働争議の問題がありました。商工会議所が十勝経営者協会を受けるかたちになり、その中に労働問題に精通する委員がおり、それが近藤博君でした。経験がある方もいるかもしれませんが、組合というのはすぐに団体交渉を申し出る。経験の無い企業が、少しでもモタモタしているとすぐに不当労働行為で提訴する。嫌な戦術がそこにはありました。その時の経験を近藤博君には労働専門相談員の一人としてしてもらいました。それもかつての繋がりがあったからでした。三浦悟君は学校を卒業しすぐに六花亭に入りました。彼はアイデアマンであり非常に行動派でした。商工会議所の時の事業や行事の時も彼の知恵や人脈を頼るなどして親しい間柄でした。ロータリーについていえば3人ともチャーターメンバーでした。市内にある3つのRCの中でのスポークスマン的な役割でした。経済センタービル建設の時にロータリー事務所と青年会議所事務所は入居が決まっていたのですが、掛かる費用については話をしていませんでした。私は商工会議所として建設協力金や敷金を何としてでも貰わないとしない立場でした。三浦君は西クラブでしたが、3つのクラブの窓口になってくれました。例会場の使用料についても矢面に立ってくれました。どんな場面でも本音を話すことができたのが、彼との時代があったからだとあらためて感じます。残念ながら3人は早くにこの世を去りました。平成5年8月に谷本君、同じく11月に近藤君、平成9年に三浦君が亡くなっています。まだ60代でした。彼らともう少し共に語り合うロータリーの生活が…というような思いが今でもします。そんな出会いの形で、遙か昔のことが根っこにあったのではないかと思います。実は社会人になってからいろんな活動の中での交流はもっとあったはずなんですけど、集まったときに話題になるのは中学校時代のことで、やっぱりその時の出会いがあったからだと感じています。もう一つだけ、話とはびますが、およそ50年前に東京商工会議所と交流会をやった時に思い出として忘れられないのが、東京出張などは当時無かったのですが、その後何かの交渉ごとの時に東京商工会議所を訪ねた時、一番先に入った事務所で職員の一人が、「帯広の小室さんですね」と声を掛けて下さった。前の年に東京商工会議所が東京都の委託を受けて商流調査に帯広に来たときに、たまたま私が担当していたことを覚えていて下さいました。それから4回にわたり交渉が行われました。時間を掛ければ出来たのかもしれませんが、そういった繋がりがどこで生きてくるかわからないとつくづく感じています。大変古い話でしたけれども話をお聞き下さいましてありがとうございました。